

第 回 珠算能力検定試験申込書

※申込用紙は、原則として本人直筆で記入してください。
 ※太枠内をご記入ください。

			級
フリガナ			性別
氏名	姓	名	男・女
生年月日	西暦 年 月 日生 (歳)		
	〒	-	日中繋がる 電話番号(携帯等)
フリガナ			
住所			
学校名 勤務先等	(名称)		
	(所在地)		
区分	1:小学生 2:中学生 3:高校生 4:専門・各種学校生		
いずれかに○をしてください	5:大学・短期大学生 6:会社員 7:その他 ()		

団体名 _____

**別紙「受験者への連絡・注意事項」を承諾し、受験申し込みいたします。
 同一回の検定試験における同級の重複受験はいたしません。**

年 月 日 本人署名:

【個人情報保護法に関して】

本申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、検定試験施行における本人確認、受験者・合格者台帳の作成、合格証書・合格証明書の発行および検定試験に関する連絡、各種情報提供の目的にのみ使用いたします。

商工会議所使用欄

備考	受験番号	合・否

第 回 珠算能力検定試験 受験票

※太枠内をご記入ください。

		受験番号
		級
フリガナ		男・女
氏名		男・女
生年月日	西暦 年 月 日生	
所沢商工会議所		印

- 1.試験会場には、駐車場の用意はございません。公共交通機関をご利用ください。
- 2.中学生以上の方は、試験当日は「本人確認書類(学生証等)」を必ずご持参ください。
- 3.その他詳細につきましては、「実施要綱」をご参照ください。

1級 : 2,340円	4～6級 : 1,020円
2級 : 1,730円	準1級(東珠連) : 1,930円
3級 : 1,530円	準2級(東珠連) : 1,580円

珠算能力検定1～6級試験受験者への注意

1. 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
2. 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
3. 受験するときに持参するもの。
 - (1) 受験票
 - (2) 筆記用具
 - (3) そろばん
 - (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。
4. 答案記入上の注意
 - <1・2・3級試験受験者>
 - (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
 - (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること。
 - (3) 無名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) 0.25 1,427.39 2,905,406
 - (4) 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。
そろばん面 答
0.4595 0.460 0.46
5.2004 5.200 5.2 (5.20とは書かないこと。)
 - (5) 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。
そろばん面
0.45 0.45 .45 (0.450又は.450とは書かないこと。)
5.2 5.2 (5.20又は5.200とは書かないこと。)
 - (6) 名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) ¥9,528 ¥9,528. ¥9,528- 9,528
(¥9,528.0 ¥9,528¥ ¥9,528円 9,528¥のような書き方はしないこと。)
[注] 答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
 - (7) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
 - (8) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
 - (9) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
 - (10) 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
 - (11) コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。
 - <3・4・5級試験受験者>
 - (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
 - (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること、が原則であるが付けなくてもよい。
 - (3) 名数の答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
 - (4) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
 - (5) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
 - (6) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
 - (7) 答を二つ以上書いたりしないこと。
5. その他の注意
 - (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
 - (2) 計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
 - (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
 - (4) 受験票を紛失したり、忘れたりした場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
 - (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。